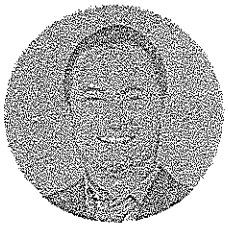
戦争法案

芸能人も異議

テレビ番組やツイートで

安保関連法案や戦争に対し、芸能人からの勇気ある発言が広がっています。



渡辺　謙さん

笑福亭鶴瓶さん

竹下　景子さん

"70年戦死なしすごい"

俳優の渡辺謙さんは28日のツイートで「国会での答弁から見えてきた、政府の定見なき推測だけで武器弾薬を携えて彼ら（自衛官）を任地に向かわせる。未来のない戦いを強いられた栗林中将と何ら変わりがない気がしてならない」と書いています。栗林中将とは、映画「硫黄島からの手紙」で渡辺さんが演じた役です。

1日には「一人も兵士が戦死しないで70年を過ごしてきたこの国」「（憲法は）世界に誇れると思う、戦争はしないんだと！」「ポケットに忍ばせた拳や石ころよりも最大の抑止力は友人であることだ」と書き込んでいます。

若者の行動共感

フジテレビ系日曜午前の「ワイドナショー」では9日、SMAPの中居正広さんがシールズなど若者の活動に触れて、「なんか動かなければこれ通ってしまうぞっていうような意識を持っていることは、すごくいい」と発言。他の出演者の「法案反対論は平和ボケ」との発言に「この70年間、日本人って戦地で死んでない。これやっぱりすごいことだと思う」と反論しました。

"止めないと絶対だめ"

7月19日放送ではシンガー・ソングライターの長渕剛さんが「どんな時代でも戦争に行くのは子どもたちだ」「それぞれの人が（略）戦争をしないように訴えるべきだ」と語りました。

落語家・タレントの笑福亭鶴瓶さんは8月8日の東海テレビ番組で「あの法律も含め、いまの政府がああいう方向に行ってしまうっていうのは、止めないと絶対だめ」。対談相手の女優・樹木希林さんも「70年も戦争をしないですんだのは、あれ（憲法9条）があるから」と応じました。

アピールに賛同

女優の竹下景子さんは、愛知ゆかりの市民による「安保法案反対アピール」（25日発表）に名を連ね、「日本が戦争する国になれば、被害者であるのと同時に加害者にも成らざるを得ません」「法案に強く反対します」と談話を寄せました。

アイドルグループSPEEDの今井絵理子さんは終戦記念日の15日に「体験者が語る戦争の怖さ、苦しみ、悲しみ。目の前で仲間が死んでいく、我が子が戦地にいく、その想（おも）いを想像するとわたしは生きていけない」「今の日本の流れを拝見すると、どこかプチ戦争なら賛成！みたいに見えるのはわたしだけでしょうか？」とツイート。

タレントのSHELLYさんは、衆院委員会強行採決の7月15日に、「テレビを見ながら不信感しかないです」「そんな中、今も雨の中デモを続ける方々は本当にかっこいいと思います」。シンガー・ソングライターの久保田利伸さんは「殺さない、殺されない。この時代、この平和ルールを保持する国がどれだけ尊いものか」（7月22日）と発信しています。

元プロレスラーの高田延彦さんは「最後は総合的に判断とあり得ない誤魔化し答弁」（8月24日）、「後方支援。政府は、さも安全な言い回し、真逆です」（同23日）。アジアンカンフージェネレーションの後藤正文さんは国会前抗議行動に参加し、その様子をツイート。ラサール石井さんもしばしば安保法案を批判しています。

漫画家・タレントの蛭子能収（えびす・よしかず）さんは著書（昨年8月発行）で「集団的自衛権の解釈をめぐって、安倍晋三首相がいろいろな発言をしています。（略）憲法解釈を変えようとしているじゃないですか。（略）ここ最近の右翼的な動きは、とても怖い」「戦争は絶対やってはいけないものだと強く思っています」と書いています。

8/31 赤旗